

学生参画型授業としてこども館で クリスマスイベントを開催

学生参画型の授業「社会教育計画論」の一環として、12月14日(日)に野菊野こども館(松戸市)にてクリスマスイベントを開催しました。プログラムは全12点。人形劇やミニコンサートのほか、クリスマスにちなんだモノづくり体験等を行いました。参加者は計196名(子ども102名、大人60名、ボランティア34名)も集まり、にぎやかで楽しいひとときを過ごしました。

この授業は聖徳大学生涯学習研究所との連携事業となっており、社会教育主事任用資格の取得を目指す学生9名が中心になり、イベントの実質的な企画・運営を行いました。



テーマ・対象の設定、場所の確保、役割分担、プログラム決定、行政・児童館・当

日ボランティアとの連携、スケジュール管理、物品管理と予算計上、安全管理、環境づくりなど、運営プロセスを体験的に取得。「絶対に成功させよう」と学生が一致団結することで、個々の責任感が高まり、イベントを成功に導くことができます。



当日は、学生ボランティアとして児童学部、音楽学部、人文学部生涯教育文化学科から

25名が集結し、学部学科を超えた繋がりや地域の子どもたちにも広がりました。

(児童学科 准教授 齊藤 ゆか)